

財政事情の公表

わがまちの家計簿(令和4年度決算から)

皆様のご家庭が、毎月の給料で食費や光熱水費、学費、ローン返済などの支払いをしながら生活しているように、市でも、皆さんから納付いただいた税金や国・府からの補助金、市債という借入金などの収入で、各種サービスの提供に必要な費用の支払いをしています。

今回は、令和4年度決算と令和5年度上半期(4月から9月まで)予算執行状況などについてお知らせします。

4年度決算状況

令和4年度の一般会計及び特別会計(企業会計除く。)の決算状況は第1表のとおりです。

「柏原市行財政健全化戦略(第2期)」に基づき、財政の健全化に取り組んだ結果、実質収支の黒字を維持することができました。

<第1表> 令和4年度各会計決算状況(企業会計除く。)(単位:千円)

会計名	予算額 (A)	収入 (B)	支出 (C)	差引(形式収支) (B)-(C)=(D)	翌年度に繰越すべき財源(E)	実質収支 (D)-(E)	
一般会計	32,135,909	29,891,676	29,012,677	878,999	76,639	802,360	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	8,359,077	8,165,167	8,086,927	78,240	0	78,240
	国民健康保険(施設勘定 堅上診療所)	11,500	8,177	8,177	0	0	0
	介護保険	6,780,206	6,602,689	6,552,354	50,335	0	50,335
	後期高齢者医療	1,236,594	1,241,997	1,199,008	42,989	0	42,989

まず一般会計の歳入を詳しく見てみると、右の第2表のとおりです。

【説明】

歳入総額は、298億9,168万円となり、前年度と比べると、8億7,073万円、2.8%の減となりました。

【主な歳入の増減理由】

○市税: 給与所得の増や時短協力金に伴う営業所得の増などによる個人市民税の増、新型コロナウイルス感染拡大時にみられた事業所の休業などの影響の緩和や原価低減による法人市民税の増などにより、2億9,725万円の増

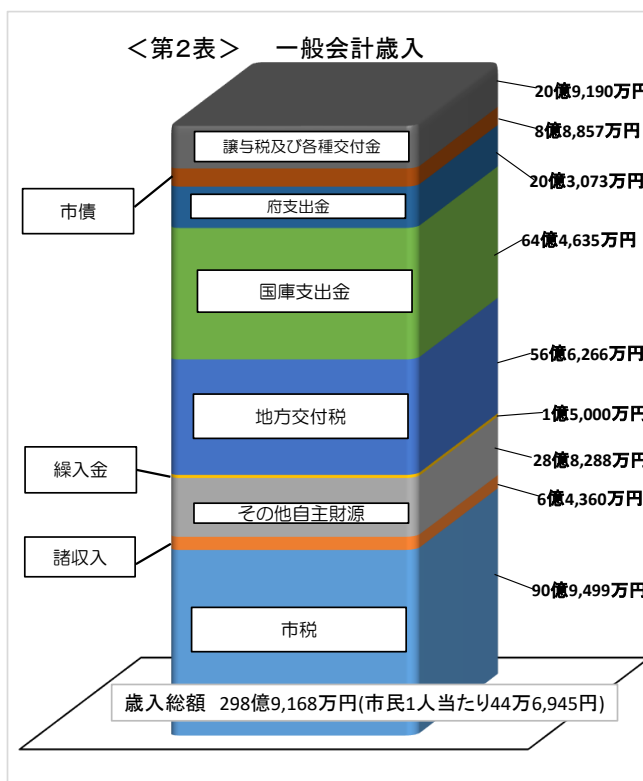
○財産収入: 土地売却収入の増などにより、6億820万円の増

○寄附金: まちづくり応援寄附金の増により、3億3,573万円の増

○市債: 庁舎施設整備事業債や臨時財政対策債の減などにより、21億1,962万円の減

○国庫支出金: 新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種給付金事業に係る補助金の減などにより、4億4,481万円の減

<第2表> 一般会計歳入



令和5年3月31日現在人口 66,880人

つぎに一般会計の歳出を見ると、右の第3表のとおりです。

【説明】

歳入総額は、290億1,268万円となり、前年度と比べると、5億6,153万円、1.9%の減となりました。

【主な歳出の増減理由】

○積立金：財政調整基金、公共施設等整備基金、ふるさと基金などのへの積立により、7億5,847万円の増

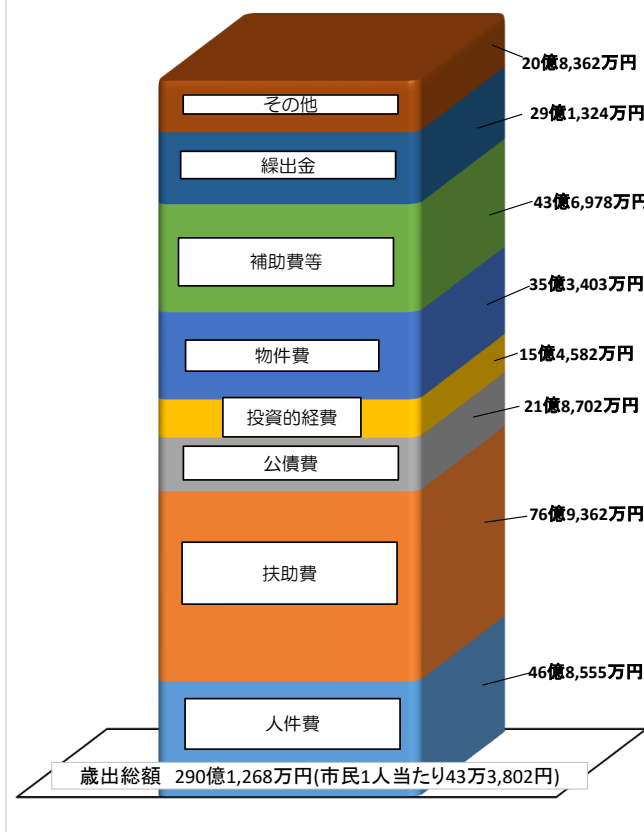
○物件費：ふるさと納税推進事業や光熱水費の増などにより、3億2,366万円の増

○人件費：退職手当の増などにより、1億6,835万円の増

○投資的経費：庁舎施設整備事業費の皆減により、12億6,574万円の減

○扶助費：新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種給付金事業の減により、6億9,124万円の減

＜第3表＞ 一般会計歳出(性質別)



市の財産

市の財産は、貯金に当たる積立金(基金)と市役所の本庁舎、学校、公園などの公有財産、負の財産である市債の大きく3つに分かれます。これらの財産の令和4年度末の状況は下記の第4・5・6表のようになりました。

<第4表> 積立金(基金)現在高一覧

(単位:千円)

基金名	4年度末 積立金現在高	市民1人当たりの 積立金現在高(円)
主な基金	4,259,171	63,684
うち		
財政調整基金	2,901,035	43,377
減債基金	524,340	7,840
公園等整備基金	202,675	3,030
その他目的基金	1,405,956	21,022
うち		
老人福祉基金	319,530	4,778
ふるさと基金	655,663	9,804

※ 基金とは・・・

ある特定の目的のために積み立てられているもので、市の貯金です。柏原市もいくつかの基金があり、目的に応じて運用されています。ただ、財政調整基金だけは使用用途を制限されない積立金です。

<第5表> 公有財産一覧

(単位:m²)

区分	土地	建物		
行政 財産	公用財産	14,411	14,999	※公用財産:市が直接業務に使用するためのもの(本庁舎、出張所など)
	公共用財産	561,901	150,271	※公共用財産:住民が一般的に共同利用するためのもの(学校、公園など)
	普通財産	62,146	8,084	※普通財産:上記2つ以外の全ての財産で、直接行政目的がないもの
	合計	638,458	173,354	

<第6表> 市債現在高

(単位:千円)

会計名	4年度末 市債現在高	市民1人当たりの 市債現在高(円)
普通会計	22,165,006	331,415

※ 市債とは・・・

本来、学校や道路など長期間にわたって利用することができる施設を多額の費用をかけてつくる時に国や金融機関などから借りる長期的な借入金です。利用者の負担の公平性を保つため、長期で返済していきます。(一般家庭で言えば住宅ローンのようなものです。)

しかし、最近では、臨時財政対策債などの財源不足を補てんするための特例的な市債の残高が増加しています。

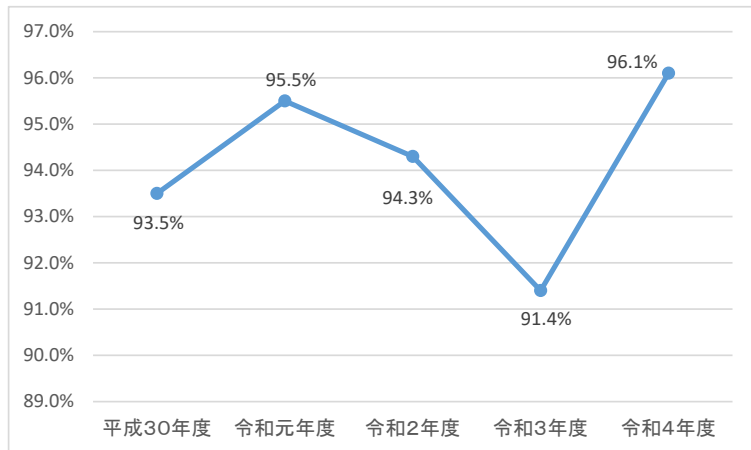
4年度決算からわかること

～財政構造の硬直化と厳しい財政運営～

下の第7表のグラフは、財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移です。令和4年度については、96.1%となりました。

少子高齢化や人口減少などにより歳入の増加が見込めない中、社会保障関係費の増加、老朽化した公共施設の改修や統廃合による施設整備事業に伴う市債の発行額の増加を考えると、今後も厳しい財政運営が見込まれます。

<第7表> 経常収支比率一覧



※ 経常収支比率とは・・・

毎年度継続して収入される市税などの経常的収入が、毎年度決まって支出される人件費、扶助費のような経常的支出にどれだけ充当されたかを示す指標。

数値が低いほど財政に余裕があることを示す点でエンゲル係数(家計の消費支出に対する食料費の割合)に似ている。

～全力で取り組みます～

このような状況の中、「柏原市行財政健全化戦略」を基本に、財政の健全化を図りながら、将来に向かって夢のあるまちづくりを行っていくために、事務・事業の見直しや効率化、経費の削減、歳入の確保などに、より一層取り組んでいきます。

令和5年度上半期予算執行状況

令和5年度上半期(4月から9月まで)の各会計における収入・支払の状況は下の第8表のとおりです。

<第8表> 令和5年度上半期各会計執行状況(企業会計除く。)

(単位:千円)

会計名	予算額 (A)	収入 (B)	収入割合 (B)÷(A)	支出 (C)	支出割合 (C)÷(A) %	収支差引額 (B)-(C)	
一般会計	28,830,945	13,780,681	47.8	11,687,645	40.5	2,093,036	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	8,218,128	2,880,812	35.1	3,069,405	37.3	△ 188,593
	国民健康保険 (施設勘定 堅上診療所)	11,488	1,309	11.4	3,323	28.9	△ 2,014
	介護保険	6,917,970	3,367,986	48.7	2,873,798	41.5	494,188
	後期高齢者医療	1,222,312	478,330	39.1	415,519	34.0	62,811

令和5年9月30日現在人口 66,849 人

また、一般会計における市債の令和5年9月30日時点での現在高は次の第9表のとおりです。

<第9表> 市債の現在高

(単位:千円)

会計名	9月30日時点の 市債現在高	市民1人当たりの 市債現在高(円)
一般会計	21,196,005	317,073